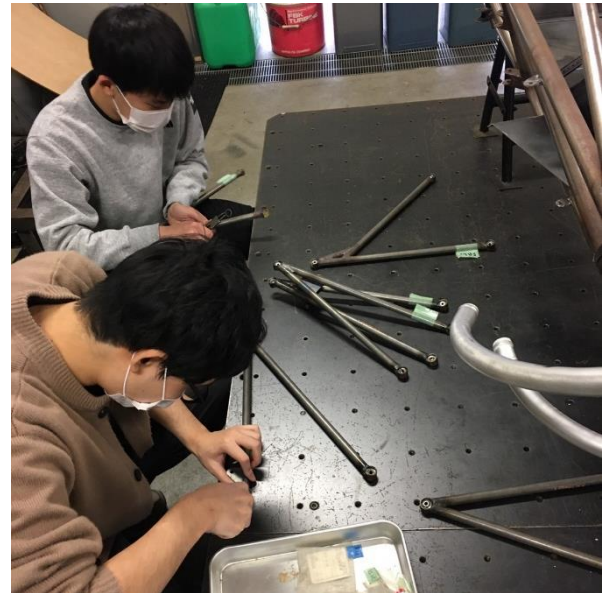




【製作したサイレンサー】



【組立作業の様子】

金沢大学フォーミュラ研究会 2021年度2月近況活動報告書

スポンサー各位

水ぬるむ季節を迎え、日中は少しずつ寒さも和らいでまいりました。

2021年度チームでプロジェクトリーダー、コクピット設計を担当しております、機械工学類3年の吉田育人と申します。

プロジェクトリーダーになり1ヶ月が経過いたしました。短い期間ではございますが、チームを動かすことの難しさを痛感しております。2月に入り、学部生は春季休業期間に入りました。これまでは、チームミーティングをオンラインで行っていましたが、一部ではございますが、対面でのミーティングを再開致しました。これにより、オンラインでは行うことが困難な、実際の部品を見ながらの進捗確認が可能となりました。メンバー間の進捗状況を把握しやすくなるため、これまでよりスムーズに製作を進めていくことが可能となります。また、静的審査に必要なコストレポートの作成を開始致しました。人数が少ないため、1人1人の負担が大きくなることが予想されますが、早い時期から取りかかることで補ってまいります。

3月末には新エンジンの受け取りを予定しております。緊急事態宣言により予定よりも受け取りが大きく遅れたため、今年度車両への搭載は困難ではございますが、来年度車両への搭載へ向けてエンジンベンチを行うことを計画しております。

春が近付き、気温の変化が激しい日が多くなってまいりました。皆様のご健康のほど、心よりお祈り申し上げます。

今後とも金沢大学フォーミュラ研究会をよろしくお願いいたします。



プロジェクトリーダー 機械工学類 3年 吉田 育人

2021 年度車両の吸気，排気，電装を担当しております，高橋です。

2 月も引き続き車両部品の製作を行っております。排気部品のサイレンサーの溶接がようやく終了し，現在サイレンサーのブラケット，ステーの製作に取りかかっております。サイズが小さく製作が容易であると安易に考えておりましたが，実際に製作してみますと，穴あけの方法や固定など，不慣れな小型の部品の製作に苦戦しております。先輩から固定や切断などの助言をいただきながら，慎重にすすめてまいります。また，吸気，排気に加えて電装も担当していることからスケジュール管理が複雑となり，自分でも完全には把握できておらず，チームの締切日を守れないことがあるのが現状です。1 つ 1 つのタスクについて段取りを組んで終わらせていけるよう，また時間のある春休み中にできるだけ進められるよう，努めてまいります。



電子情報通信学類 2 年 高橋 友朗

2021 年度車両の冷却，燃料，潤滑を担当しております，富窪です。

今月は主に，他のメンバーが担当する部品の製作を行いました。ブラケットの製作においては簡単な溶接を行う機会があり，久々ということもありかなり苦戦致しました。継手の強度や気密性からアーク溶接の一種である TIG 溶接を導入しているのですが，電極とは別に溶接棒を用いるため右手と左手で別の動きが必要とされます。電極は溶接する部分に沿って動かし，溶接棒は溶ける量に合わせて溶接部分に送っていきます。どちらかに注意が傾くとどちらかがおろそかになってしまうので，数をこなして慣れていくことが重要だと考えています。簡単な溶接でさえかなり苦戦してしまったことから，私たちを取り巻く多くの工業製品にありがたみを感じました。これからも学んだことを生かして設計製作に取り組んでまいります。



機械工学類 2 年 富窪 壮太

ホームページ，ブログ，SNS も随時更新しております。ぜひご覧ください。
ホームページ：<http://www.kanazawa-formula.com/>
ブログ：<http://www.kanazawa-formula.com/blog/>
Twitter：[@kanazawa_FSAE](https://twitter.com/kanazawa_FSAE)

以上，活動報告とさせていただきます。

今後とも，金沢大学フォーミュラ研究会をよろしく願いいたします。

敬具
金沢大学大学院 自然科学研究科 准教授
榎本 啓士
フォーミュラ研究会一同

2021 February